

Broaden your horizons ②4 ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。先日、国内初の医療用「まつげ育毛剤」の開発が開始されました。まつげが貧弱で短い、まばら、色が薄いなどの原因で、目にほこりなどの異物や異常な光が入るのを防ぐまつげの機能が十分に発揮されない「睫毛貧毛症」に効果がある医療用医薬品です。これが発売されれば、若い女性が使いたがるでしょうね～。ビューラー中にくしゃみをして、まつげがごっそり抜けた私の友人に教えてあげなきゃ!

しかし、睫毛貧毛症なるものがあることを私は今回初めて知りました(私の友人はこれに当てはまるのかしら? 適用外?)。勉強すればするほど人間の身体は本当に無駄がないなと思います。すべての部位にきちんと理由があって、存在しているのです。

高校時代、180cmの身長を誇るラグビー部の私の友人は、何を思ったか突然まゆげを剃り、それ以来電車でなぜか(?)必ず座れるようになったそうです。そんな彼が私に真顔で「まゆげの役割って知ってるか?」と言ってきたことを思い出しました。「……お顔のアクセント?」「違う。まゆげはな、汗が目に入らないように止める役割があるんや。俺はまゆげを剃ってから、クラブ活動中に汗が目に入って痛くて仕方がない。まゆげってスゲー大事なんだぞ!」と熱く語る彼。それを私に教えるために君はハイリスクを冒したの? 彼はその後、まゆげが生えなくなり薄いまま一橋大学で経済を学び、ハイリスク・ハイリターンな金融業界で活躍しています(笑)。まゆげがもう少し濃ければもっと男前になる彼のために、まゆげ育毛剤も開発されることを切に願っています。

薬学に薬物治療学が入ってきて15年。メジャーな病気は大学で習いますが、多様化の時代に薬も多様化し、新薬も開発されていき、様々な病気も見つかってきています。それに対応するため、薬剤師は一生勉強です。どうせやらなければいけない勉強なら楽しんでやりましょう! そして、自分が知識を持つことで患者さんや家族、友人、大切な人の役に立てるのです。自分のためだけではなく誰かのために。自分の成長が社会の役に立つ。そう考えれば薬剤師はなかなかよい職業ですよ。一緒に知識を増やし、成長し、社会の役に立つ薬剤師になっていきましょう!

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子